

平成3年における死亡災害発生状況(速報)

事故の型: 墜落、転落 3人 飛来、落下 1人 はさまれ、巻き込まれ 3人
 高温・低温の物との接触 1人 交通事故(道路) 1人 その他1人

番号	災害発生月	業種	性別	職種	年齢層	災害発生の概要 (概要の内容は、同種災害防止の見地等から編集を加えています。)	事故の型	起因物
1	1月	その他の土木 工業業	男性	重機オペレーター	70代	アルミ製の道板を使用して小型のドラグショベルをトラックの荷台へと移送していたところ、左クローラー側の道板が荷台から外れ、ドラグショベルが横転した。横転したはずみで被災者は車外へと放り出され、運転席(キャノピー型)の支柱の下敷きとなった。	墜落、 転落	掘削用機械
2	1月	製材業	男性	ボイラー 員監視	60代	ボイラーに付属する給水タンクの水量を確認するためにはしごを登っていたところ、足を滑らせてタンクの手前にあった融雪用の湯が流れる水路(深さ90cm)に墜落した。墜落時の衝撃によって複数箇所を骨折したほか、全身に重度の熱傷を負った。	高温・低温の 物との接触	建築物、 構築物
3	1月	自動車・同付 属製品製造業	男性	玉掛け 作業員	20代	天井クレーンを用いて金型を2段積みする作業中、金型に背を向け屈んでいた被災者に上段の金型が落下した。落下した金型にはワイヤロープを取り付ける箇所が計4箇所設けられていたが、災害発生直前にはそのうち2箇所(被災者から見て手前側)からワイヤロープが取り外された状態であった。	飛来、 落下	クレーン
4	2月	陸上貨物取扱 業	男性	運転手	50代	国道上をトレーラーで走行中、本線と側道との間に設けられた分離帯に衝突し、その3日後に外傷性大動脈解離により死亡した。	交通事 故(道 路)	トラク ク
5	3月	パン 造業・菓子 製	男性	食料品 製造従 業員	40代	包装機の原料投入用バケツに原料を入れ、バケツの上昇ボタンを押し、その後、バケツが上昇している途中にバケツの蓋を開け、バケツの中を覗き込んだところ、上昇途中にある梁とバケツの間に首から胸を挟まれた。	はさま れ、巻 き込ま れ	食品加 工用機 械
6	4月	社会福祉施設	男性	運転手	70代	被災者が送迎していたデイスサービスの利用者の中から新型コロナウイルス陽性者が出たため、濃厚接触者とされた被災者もPCR検査を受けたところ、陽性と判定された。よって、入院して治療していたが、その後死亡したものの。	その他	その他 の起因 物
7	4月	その他の林業	男性	作業 者・技 術	70代	被災者と事業主は事故発生場所における立木の枝払い作業に従事していた。各々50mほど離れた場所にてヒノキの枝打ちを行っていたが、休憩時間の10時に被災者が休憩小屋に来なかったため、事業主が被災者の枝打ち作業していた立木の場所に行くと、立木から転落した被災者が倒れていたもの。	墜落、 転落	流木等
8	5月	非鉄金属製 造業	男性	作業 者・技 術	40代	被災者がスレート板で葺かれた工場の屋根を補修しようとしたところ、スレートを踏み抜いて4メートル墜落した。	墜落、 転落	屋根
9	5月	金属製品製 造業	男性	作業 者・技 術	70代	研磨機を使って鉄パイプ溶接部分の研磨を行っていたところ、身に着けていた作業用エプロンが研磨機に巻き込まれたもの。	巻き 込ま れ、 はさま れ	金属加 工用 機械
10	5月	金属製品製 造業	男性	作業 者・技 術	20代	曲がったアルミ建材を「ストレッチャー」という機械で真っすぐにする作業中、同ストレッチャーに挟まれた。	巻き 込ま れ、 はさま れ	金属加 工用 機械